

3類型	農林水産物	通巻番号	3-21-130
地域資源名	こんにゃくいも	認定日	平成22年2月10日
地域	群馬県甘楽郡下仁田町	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名: 群馬県産のこんにゃくを使用した独自技術による『こんにゃくと地元野菜の漬物商品』等の開発・販売

会社名: 茂木食品工業株式会社

所在地: 群馬県甘楽郡下仁田町東野牧229-1

連絡先: TEL: 0274-82-2626

HP: <http://www.zeitaku.jp>

FAX: 0274-82-4646

事業概要(新たな活用の視点)

・生産者の高齢化や輸入原料の増加、消費者の食生活の多様化などにより、こんにゃくいもの生産及び消費ともに減少傾向にあり、地域一体となった消費拡大が課題となっている。弊社は昭和35年の会社設立以来地元や県内で収穫されるこんにゃくいもを使い、付加価値の高い自社ブランド製品を開発・販売してきた。しかし、食生活の変化により、こんにゃくの消費低迷がつづいており、この状況を打破するため、調理するこんにゃくでなく、そのまま食べられる簡便性に富んだ新しいこんにゃく商品を開発し、消費拡大に繋げる。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・当社は長年、こんにゃく製品に関する酸とアルカリの関係を研究し、酸性にしたこんにゃくと野菜をあわせた商品の技術力を持っている。この技術により、簡便性に富んでいて調理せずにそのまま食べられる付加価値の高いこんにゃく食品を開発する。他の競合品、類似品と比べても、一定の市場を確保することが期待できる。

◆市場性

・ターゲット顧客は主として観光客や女性層であり、これらの客層は健康志向や目新しさ、簡便性・手軽さを求めており、さらに地域性豊かな商品を求める傾向にある。今後もこのような層が増えることが見込まれ、ますますニーズが高まると考えられる。

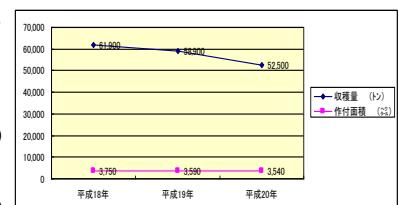
◆販路

・自社店舗をはじめとして県内外のJA特売所、道の駅、健康食材専門店、高級飲食店などの専門店で販売する。また、県内の観光地をはじめとする全国有名観光地の売店、インターネット販売、さらに従来からの取引のある食品卸等との連携を進めて販売する。

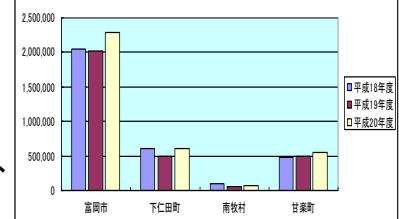
地域資源における関係事業者との連携

・自社店舗をはじめ既存の提携先からモニター調査を中心に消費者動向の把握に努め、またJA甘楽富岡・下仁田ねぎ農家等と連携し、地域の特産物の特性を活かした商品開発を図る。

こんにゃくいも収穫量



甘楽・富岡地区観光客入込数



商品開発例

こんにゃくと下仁田ねぎの味噌漬け



こんにゃくとカブの甘酢漬け



こんにゃくの松前漬け

